

サポート

No. 164

令和元年10月29日発行

秋田県教育庁特別支援教育課 指導班

第48回 特別支援学校「学校展」

【主管校 大曲支援学校 教諭 加藤 裕美】

今年度の学校展は、9月7日（土）と8日（日）の2日間、大仙市のイオンモール大曲で開催しました。学校展は、県高等学校長協会特別支援学校部会と県特別支援学校PTA連合会の共催で毎年行われており、今年で48回目となりました。主管校としてできるだけ多くの方々に見ていただけるような場所としてイオンモール大曲を考え、御承諾いただき開催に至りました。

当日は、入り口正面に学校紹介のパネル、通路に各校の作品等を展示しました。また、県南地区での開催ということで、県南地区の特別支援学校に呼び掛け、ステージ発表は本校（小学部児童有志によるダンス、高等部3年生による「曲耀太鼓」）で、作業学習製品販売は県南地区4校で行いました。どれも大盛況で、学校関係者だけではなく、買物に来た多くの方々にも足を止めて見ていただくことができました。

来場された方のアンケートには、「広い駐車場があり、来やすかった。」「それぞれの学校で、地域の特色を生かした作業学習製品を作っていることを知って驚き、うれしく思った。」「ステージ発表は小学部と高等部3年生ということで、始まりから成長のイメージがでてよかったです。曲耀太鼓、感動した。」などの感想が寄せられました。

2日間という限られた期間ではありましたが、本県の特別支援教育のことを広く一般の方々に知つていただく貴重な機会となりました。



作品等の展示



高等部3年生
「曲耀太鼓」



作業学習製品
販売

県特別支援学校体育連盟強化チーム 男子バスケットボール

2019 FIDジャパン・チャンピオンシップ

バスケットボール大会（第24回）

優勝報告

10月2日（水）に県特別支援学校体育連盟強化チーム男子バスケットボールの優勝報告のため、千葉特体連会長をはじめ、北林監督、伊藤選手、高杉選手らが、特別支援教育課を訪れました。この大会は、8月に長野県で行われ、全国から40チームが参加しました。日頃の練習の成果を発揮し、見事初優勝を飾りました。今後のさらなる活躍を期待します。





北海道に赴任して思うこと

北海道真駒内養護学校
教諭 長谷恵美子

北海道に赴任し、早1年半。実際に暮らしてみると、今ではおおよその地理感覚が身に付きました。「百聞は一見に如かず」、現地で実際に見ること、経験することの大切さを実感しています。

勤務校は、肢体不自由のある児童生徒が140名ほど在籍する札幌市内の学校です。北海道は一人一人の指導計画の検討や、実態把握から具体的な指導内容を設定するまでの流れをまとめた課題関連図の作成、発達段階をベースにした指導内容・学びの系統性の検討、自立活動教諭等関係機関との連携に力を入れており、特に、補装具等の作成に教諭も関わっている点は大きな驚きでした。しかし、日々の授業づくりや教員間の連携、授業研究会等については、秋田県の取組の充実ぶりを改めて実感したところです。

生活単元学習では秋田県の郷土料理を取り上げ、派遣元の学校の児童とビデオ交流し、「みそたんぽ」と「だまこ鍋」を作りました。Skypeなどでタイムリーな交流ができれば、なお充実した交流ができたと感じますが、北海道の子どもたちは大変喜んでくれました。

任期も残り少なくなりましたが、今後は、道内の特別支援学校の参観等も計画しています。北海道での学びを秋田の教育に少しでも還元できるよう研鑽に努めたいと思います。



宿泊研修：花火初体験の児童もいました。



初めて口にするセリの味。「だまこ鍋」が完成しました。



おやじの会：雪遊びを高校生ボランティアも一緒に行いました。

おめでとうございます

「令和元年度秋田県学校関係緑化コンクール」受賞校

【学校林等活動の部】

「知事賞」 県立能代支援学校

※能代支援学校は、全日本学校関係緑化コンクールに秋田県代表として推薦され、その結果は来年2月下旬に決定する予定です。

【学校環境緑化の部】

「知事賞」 県立ゆり支援学校

「東北森林管理局長賞」 県立比内支援学校たかのす校

「県教育委員会教育長賞」 県立大曲支援学校

「県森林組合連合会会长賞」 県立比内支援学校かづの校

「秋田県森と水の協会会长賞」 県立比内支援学校



能代支援学校生徒による支柱立て



能代支援学校児童生徒による植樹